Themis テミス

岡義博法律事務所報 第61号

高松市丸の内７番20号　丸の内ファイブビル５階
ＴＥＬ　（087）821－１３００
ＦＡＸ　（087）821－１８３３
MAIL　oka-law@kln.ne.jp
Ｈ　Ｐ　https://www.oka-law.com/

# 多様性

所　長　弁護士　岡　義　博

コロナ禍の最中に行われたオリンピック、パラリンピック。成功だったかどうか、議論はあるが、成功といえるのではないだろうか。

競技者は超人的なパフォーマンスを見せ、感動を与えてくれたし、運営面でのコロナ対策も成功と評価できるであろう。しかし、なんと言っても人間の多様性を示したことが１番の成功ではないだろうか。

オリンピックでは元男性が女性の種目に参加したものがあったが、見る側もこれを好意的に受け入れた。性の多様性についての理解が示されたのである。性の多様性については、最近ＬＧＢＴＱ＋という言葉が認知されるようになった。Ｌ【レズ】、Ｇ【ゲイ】、Ｂ【バイセクシュアル：両性愛者】、Ｔ【トランスジェンダー：心と体の性の不一致】、Ｑ【クエスチョニング：自分の性が分からないという人】【クィア：性的少数者を表す言葉】である。ＬＧＢＴＱ＋という言葉の広がりは性的多様性の受容を示すものといえよう。

性的多様性以外にも多様性があることをパラリンピックが見せてくれた。パラリンピックでは実に多数の種目が行われた。障害の態様によって多くの種類の競技が行われた。オリンピックよりはるかに多い、多様な種目であった。パラリンピックは人間の多様性を示し、そして多様性の受容を見せてくれた。参加者も運営者も観る側も、皆が多様性を認め合った。障害とは個性の１つであり、顔、形が個人個人で異なるのと同じで、自然のことであると、皆が受け止めるようになった。これがなんと言ってもパラリンピックの成功を意味している。

多様性を受け入れる社会においては、差別や偏見は生まれない。その意味で東京オリンピック、パラリンピックの成功は、差別のない社会の実現に向けて、大きな一歩を踏み出したといえるであろう。

ただ、人間の多様性は性や障害だけではない。宗教や文化という面でも世界中に多様性は広がっている。宗教・文化の面においても、お互いに相手を受け入れ、多様性を認め合うことになれば、平和な世界が訪れると思われるが。

## 法の女神・テミス

この像は、ギリシャ神話の「法の女神」テミス（Themis…ギリシャ語で、「掟」「習慣」「法」「正義」を意味します）を形どったものです。

右手に掲げるはかりは、公平を象徴するとともに、悪の重さをはかり、左手の剣は力による貫徹を象徴し、目隠しは無私をあらわすものといわれています。

## 身近な法律シリーズ(61)　遺言制度の改正②

遺言制度の改正でもう一つ大きなものは遺言書保管制度ができたことです。自筆証書遺言を法務局で保管してくれる制度です。

これまで、遺言書を作っても、紛失したり、保管者が遺言書の保管場所を忘れたりして、遺言者の死後、遺言書が発見されず、そのままになってしまうことがありました。これでは、せっかく遺言書を作っても無駄になってしまいます。

保管制度では、法務局が遺言書本体（封印していないものに限る）を保管してくれるほか、電磁的記録としても保管してくれます。法務局で保管してくれるので遺言書の紛失という心配はありません。

保管制度のメリットとしては、他に、遺言書の検認手続が不要という点があります。自筆証書遺言は本来、遺言者の死後家庭裁判所で検認をする必要があります。保管者が裁判所に申立をして、遺言書の現状を保全し、改ざんを防止するのです。ところが、保管制度では法務局が保管しているので、検認は不要となります。

保管を依頼するには手数料がかかります。１件3,900円です。保管の申請は予約制になっています。保管されると保管証が発行されます。保管を依頼した後、遺言書を訂正したり、撤回したりすることも可能です。

遺言者が死亡した後、相続人や受遺者らは、法務局に申請して、遺言書があることの証明書や遺言書の内容の証明書をもらう事ができます。遺言した人は相続人に、保管を委託していることを告げておく必要はあるでしょう。内容の証明書を申請する場合には、相続人全員の戸籍謄本や住民票などを添付する必要があります。証明書をもらうにはもちろん、手数料が必要です。１通１４００円です。

相続人の一人に証明書の交付がなされた場合には、法務局は、他の相続人に対し、遺言書を保管している旨通知します。これによって、他の相続人も遺言書があることを知ることができます。

## 高松ウォッチング

事務局　E・O

最近、足湯と半身浴にはまっている。
知人に深海のバスソルトとマッサージ用のジェルをもらった。デトックス効果抜群でとても気に入ったので、注文する事に。

電話で注文しようと問い合わせすると、「インターネットで注文して下さい。サイト名を教えますから」と言われたが、私はどうもネット注文が苦手。サイトの説明が始まった。サイト名はカタカナ３文字。

電話口の店員のお嬢さん、日本語がたどたどしい。不安がよぎる。何度か聞き返す（お互い人の話を聞いていない感じ）
私は、わかりやすく丁寧にしゃべる。
私「パピプペポの　**プ**　ね」
店員「ちがいます。プリンの**プ**です！」
私「・・・・（え？いっしょやん）」
２つ目の説明（これはわかった）。
３つ目は聞き返した。「あ～。**ゲ**ね」
店員「ちがいます。てんてんはいりません。カキクケコの**ケ**です！」
私「・・・・」
店員「この字の前に△◎※＆・・・・」
私「え～まだあるの～？　わかった！
　エス ドット エイ　ね」
店員「ちがいます。ＡＢＣＤの**Ａ**！です」
店員さんに叱られた（面倒なやっちゃ）。
私（今度は英語？こっちの脳はカタカナで一杯。先に英語と言ってよ）
このやり取りを横で娘が聞いていた。
娘「サイト名わかったよ～。
　ネットに繋がってるから。
　電話替わろうか～」
（気づいたら、私は大声で喋っていて周囲に丸聞こえだった）
私「あ～、もう替わって😭」

# 八十八ヶ所巡り　その24

79番天皇寺。こちらも古い歴史を持つ。奈良時代、行基菩薩の開基とされる。後に弘法大師が再興し、摩尼珠院（まにしゅいん）と名を改めた。その後、保元の乱に敗れた崇徳上皇が讃岐の国に流され、この摩尼珠院の末寺に居を構えたとされる。上皇は都への帰還がならず、この地で崩御された。上皇の霊を鎮めるため後に二条天皇が崇徳天皇社を建立したという。

明治の神仏分離によって、寺と天皇社が分かれ、天皇社は白峰宮となり、末寺の高照院が天皇寺となった。

境内入口には大きな赤鳥居と両脇に小さな赤鳥居がある。寺というより、神社という感じである。鳥居をくぐって、ずっと真っ直ぐ行くと、白峰宮がある。神社感が強い。

寺の本堂と大師堂は鳥居を入った左手に木々に囲まれこじんまりと佇んでいる。

この地は八十八場（やそば）と呼ばれるが、ここには更に古い伝説がある。大昔、日本武尊（やまとたけるのみこと）の皇子が瀬戸内海を荒らす悪魚を退治に来たが、悪魚の毒に当てられ倒れてしまった。その時八十八人の兵士が霊泉の水を飲んで蘇生した。そこで八十蘇場と呼ばれたが、現在では「八十八場」と書く。寺の近くに有名な八十八場のところてんがある。湧き水も美味しい。

いずれにしても、古くからの歴史を持つ寺である。

**秋暑し　鳥居の陰に　大師堂**

（Y・O）

# ちょっとひといき

事務局　K・K

毎年、我が家の畑に実る渋柿。私が見て見ぬ振りをしているので、もったいないと見かねたのか、お隣の奥さんが、「もらってもいいかな」と声を掛けてきました。

それ以来、時季を見はからって「柿、いつでもどうぞ。」と私から声を掛けています。

お礼にと、出来た干柿を頂きました。食べてびっくり、超甘い！白い糖分の粉が沢山付いていて、形もふっくら立派で、高級な和菓子の様です。アンチエイジングや免疫力ＵＰにもなり、栄養価が高いそうです。こんなにおいしいものをひと手間を惜しんで無駄にするところでした。

お隣さんは趣味の登山にこの干柿を持参し、山頂で食べるのを楽しみにしているそうです。

昨今、「食品ロス」について問題になっているので、買いすぎや賞味期限を考え、廃棄しないように気をつけていますが、畑の実りを生かせていない私は、まだまだ無駄が沢山あるようです。

セカンドライフは、我が家の四季の果実や花にもっと愛着を持って、生かして楽しみたいと思います。

外部の方の原稿です